



## ■ 地域活性化の期待を担う中之島線

京阪グループでは、平成32(2020)年度を見据えた京阪グループの将来像である経営ビジョン「“選ばれる京阪”への挑戦」の達成に向けて、今年度から新たな3か年計画「ATTACK 2011」をスタートさせました。

平成20年9月以降、米国の金融危機を契機とする世界規模の景気悪化は、京阪グループにもかつて経験したことのない厳しさをもたらしています。「ATTACK 2011」ではこの難局に耐える「強靱な経営基盤を構築する」と、「選ばれる京阪」の実現に向けて「京阪グループの成長を確実に具現する」ことを基本方針にして取り組んでいきます。

こうした厳しい経営環境だからこそ、安全はもちろん環境マネジメントにもしっかりと取り組み、鉄道会社として地域社会、お客さまに満足いただけることが重要だと、私は考えています。そのためにはCSR経営を推進し、京阪グループを取り巻くステークホルダーに対する社会的責任を果たしていくことが、難局を打開し“選ばれる京阪”を実現することにつながると考えています。

平成20年10月19日に開業した中之島線は、その一つの象徴です。中之島線によって大阪の東西交通アクセスが飛躍的に向上し、中之島地区の再開発を促進しました。また、大阪の経済・文化の中心である中之島と京都が直結したことで、関西全域の交通ネットワークを一層充実させることもできました。

中之島線による地域活性化への貢献により、当社は大阪商工会議所の「大阪活カグランプリ2008」に選ばれたほか、関西経済同友会、関西経済連合会の「関西財界セミナー賞2009 大賞」を受賞しました。中之島地区のみならず関西のビジネスと文化を発展させる高い可能性を持つ中之島線を、より大きく育てていくことが、京阪グループに課せられた使命だと考えています。

## ■ 外部からも高い評価をいただく安全対策

当社が果たすべき社会的責任のなかでも、「安全・安心の確保」はすべての基本になります。

鉄道・バスなどをはじめとした交通事業においては、国土交通省による「運輸安全マネジメント」に加え、当社独自の「鉄道安全会議」や「鉄道保安総合委員会」、「保安監査」などを定期的に行い、先進的な安全管理体制を構築しています。さらに、平成21年3月には「鉄道安全大会」を初めて開催しました。

当社は40年以上も前から部門横断管理による安全対策を実施しており、「鉄道安全大会」は、その集大成になるものです。常に油断することのない安全対策で万全の態勢を整えておりますが、事故を経験しないことが落とし穴になることもあります。そこで、「鉄道安全大会」では鉄道に携わる社員を集めて有用な外部の方の話の聞き、他社のさまざまな事故例を学びました。